

NEWS
RELEASE

ベルナール・ビュフェ

いきものの

かたち



《赤い昆虫》1963年油彩

おとなも子どもも
楽しもう!

ビュフェの“自然誌博物館”



ゴライアストリパネアゲハ 標本(ふじのくに地球環境史ミュージアム蔵)



《蝶》1963年油彩

2023年7月15日(土) - 10月1日(日)

主催・会場：ベルナール・ビュフェ美術館 共催：ふじのくに地球環境史ミュージアム

後援：静岡県教育委員会、長泉町教育委員会、清水町教育委員会、裾野市教育委員会、沼津市教育委員会、三島市・三島市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送

【所在地】〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511

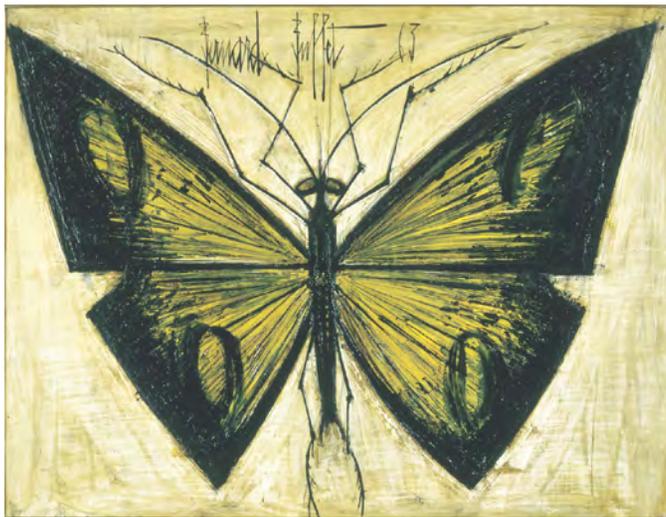
【入館料】 大人：1,200円(1,100円) 高・大学生：600円(500円) 中学生以下：無料 ()内は20名様以上の団体割引料金
同時開催中の「ビュフェ・スタイル」とは何か?」展もご覧いただけます

【休館日】 水曜日・木曜日 【開館時間】 10:00-17:00 入館は閉館の30分前まで 【公式サイト】 www.buffet-museum.jp

ビュフェの目と手を通して生まれた 虫、鳥、さまざまな生きものの魅力。

別館・企画展示室

虫が大好きな少年だったベルナル・ビュフェ。画家になろうと決意したのも、自然科学の先生がビュフェの描いたトンボの絵をほめてくれたのがきっかけ。この展覧会では、ビュフェが描いたさまざまな生きものの作品が大集合します！



少年時代から好きだったトンボやチョウをはじめ、鳥、魚、カニ、カエルや哺乳類、骨格標本まで、実にいろいろな生きものを描いたビュフェ。ビュフェが夢中になったのは、生きものたちの「かたち」です。ビュフェの生きものたちは、写真のように本物そっくり…ではありません。それぞれの生きもののかたちの美しさ、おもしろさを、ビュフェのスタイルで誇張し、空想もまじえて描いています。見る人を捉えてやまないビュフェの生きものたちとの出会い、ぜひお楽しみください。



1. 《蝶》1963年 油彩
2. 《小さいミミズク》1963年 油彩
3. 《馬の顎》1970年 油彩
4. ベルナル・ビュフェの少年時代の標本箱（写資資料）
5. 《かさご》1964年 リトグラフ
6. 《ガマ》1964年 油彩
7. 《とんぼ》1959年 油彩
8. 《蟹》1963年 油彩



HIGHLIGHTS

ふじのくに地球環境史ミュージアムから
標本たちもやってくる！



ゴライアストリパネアゲハ



オオコノハズク



トゲノコギリガザミ



オニヤンマ



ウマの頭骨

標本画像はすべてふじのくに地球環境史ミュージアム提供

ふたつのミュージアム、
初のコラボレーション！

本展覧会のもうひとつの魅力は、ふたつのミュージアムの共催企画であること。静岡県立の自然系博物館であるふじのくに地球環境史ミュージアムの協力で、さまざまな生きものたちの実物標本をビュフェの作品とともに展示します。

ビュフェならずとも、生きものたちのかたちには大人も子どもも夢中になってしまう魅力があります。実物標本をじっくり観察したり、ビュフェがどんなところに魅力を感じて描いたのか、作品とともに見直してみたり、自分でもスケッチに挑戦してみたり。絵にも生きものにも、新しい発見がある展覧会です。



ふじのくに地球環境史ミュージアムは、静岡市駿河区大谷にある県立の自然系博物館で、静岡県の自然に関する標本等を多数展示しています。ミュージアムは「100年後の静岡が豊かであるために」を活動テーマに、人と自然が共生する未来のあり方を考えていきます。

EVENTS

おとなも子どもも見て描いてみるワークショップ
『生きものをじっくり観察×描いてみよう！』

展示室の標本をじっくりと観察、スケッチしてから、いきものの絵を描いてみましょう！

開催日：7月22日（土）・8月6日（日）

時間：13：30～15：30

定員：6組（1組は付添の方を含めて4名まで）

5才以上どなたでも / 大人も歓迎。1か月前より申込受付

参加費：描く方ひとりにつき500円

ビュフェ作品をじっくり楽しむ
『ビュフェのいきものツアー』

開催日：7/23日・8/5日・
8/20日・9/9日

時間：14:00 から約30分
予約不要・時間までに会場へ

当館学芸員がビュフェの生きもの
の絵のみどころを紹介します。

特別開催

標本を楽しむ自然科学ワークショップ
ふじのくに地球環境史ミュージアムから
昆虫博士・骨博士がやってくる！

開催日：9月の週末を予定

自然科学の専門家といっしょに標本を観察したり、お話を聴いて楽しみましょう！
詳細はウェブサイトでご案内します。

【広報用画像資料】

広報用にお使いいただける画像をご用意しています。

お申込み、お問い合わせについては次ページをご覧ください。

クレジット表記は各画像下の内容をご利用ください。(原題表記が必要な場合お問い合わせください)



1 《蝶》 1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ



2 ゴライアストリバネアゲハ標本
(ふじのくに地球環境史ミュージアム蔵)



3 《かさご》 1964年 リトグラフ
ベルナール・ビュフェ



4 《とんぼ》 1959年 油彩
ベルナール・ビュフェ



5 《小さいミミズク》 1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ



6 《赤い昆虫》 1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ

【広報用画像資料申し込み用紙】

前ページ掲載の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しています。

ご希望の場合は□にチェックを入れ、必要事項をご記入の上、FAXにて055-987-5511まで、あるいは必要事項と画像の番号をE-mailにてinfo@buffetmuseum.or.jpまでお申し込みください。

- お願い
- ・クレジット表記は前ページ画像下の情報をご利用ください。
 - ・掲載誌一部をご送付ください／掲載サイトのURLをお知らせ下さい。
 - ・取材にご来館くださる場合は事前に担当者までご一報ください。

貴媒体名

掲載号 発売・公開日等 年 月 日

貴社名 ご担当者名

Tel Fax

E-mail

ご住所

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1 《蝶》1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ | <input type="checkbox"/> 2 グライアストリバネアゲハ標本
(ふじのくに地球環境史ミュージアム蔵) |
| <input type="checkbox"/> 3 《かさご》1964年 リトグラフ
ベルナール・ビュフェ | <input type="checkbox"/> 4 《とんぼ》1959年 油彩
ベルナール・ビュフェ |
| <input type="checkbox"/> 5 《小さいミミズク》1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ | <input type="checkbox"/> 6 《赤い昆虫》1963年 油彩
ベルナール・ビュフェ |

FAX : 055-987-5511 / E-mail : info@buffetmuseum.or.jp

【お問い合わせ】

展覧会担当：雨宮（あまみや）
井島（いしま）
杉崎（すぎざき）

ベルナール・ビュフェ美術館
静岡県駿東郡長泉町東野クレマチスの丘 515-57
TEL 055-986-1300
info@buffetmuseum.or.jp

GENERAL INFORMATION



ベルナール・ビュフェ美術館 <https://www.buffet-museum.jp>

所在地 〒411-0931 静岡県長泉町東野クレマチスの丘 515-57 TEL 055-986-1300 FAX 055-987-5511

入館料 一般：1,200円（1,100円）高・大学生：600円（500円）中学生以下：無料（ ）内は20名様以上の団体割引

休館日 水曜日・木曜日（祝休日の場合は開館し続く金曜を休館）

開館時間 10:00-17:00（3月-10月）入館は閉館の30分前まで

アクセス 自動車の場合 新東名・長泉沼津 I.C. または東名・沼津 I.C. →伊豆縦貫道（東駿河湾環状道路）→長泉 I.C. 出口 R246を右折／「城山」交差点左折／静岡がんセンター方面へ（新東名長泉沼津 I.C. より約5km）

電車の場合 JR東海道線 [三島駅] 下車 南口3番のりば富士急シティバス駿河平線ビュフェ美術館入口下車徒歩7分
（本数に限りがあります。当館ウェブサイトをご覧ください）

北口よりタクシー約25分

同時開催

2023年4月1日（土）-2023年11月7日（火）

ベルナール・ビュフェ美術館 開館50周年

ベルナール・ビュフェ美術館 新館展示室

“ビュフェ・スタイル”
とは何か？

唯一無二のそのスタイルを、たっぷりお楽しみください。

20歳直前、衝撃的なデビューを飾り、一躍時代の画家になったベルナール・ビュフェ。デビュー時すでに、彼だけの独自の「スタイル」を確立していました。その唯一無二の“ビュフェスタイル”を、当館収蔵の幅広い年代にわたるビュフェ作品100点超でたっぷりご覧いただきます。